

議会だより

No.113 平成22年3月定例会 4月16日発行

議会ホームページアドレス <http://www.city.nanyo.yamagata.jp/webs/gikai/>

主な内容

- 3月定例会…………… 2・3
- 予算特別委員会…… 4～7
- 一般質問…………… 8～11
- 常任委員会審査報告… 12・13
- 置広議会報告…………… 13
- 置病議会報告…………… 14
- 請願審査結果表…………… 14
- 編集後記…………… 14



「心ひとつに」

赤湯バレーボールスポーツ少年団は今年で14年を迎えました。発足当時は女子のみでしたが、近年は男女で活動しております。

昨年は、設立以来初となる男女一緒に県大会へ出場することができました。次は『アベック優勝』を目標に週3回赤湯小学校で練習に励んでおります。

バレーボールを通して、『人を思い・助け合い・信じる心』を養ってもらえればと団として取り組んでいます。



元気にがんばる子どもたち(16)

赤湯バレーボールスポーツ少年団

3月定例会

3月定例会は2日より19日までの18日間の会期で開かれました。提出された議案は、同意案1件、条例案・その他14件、補正予算案4件、当初予算案11件が提案されそれぞれ原案のとおり可決されました。一般質問は8議員が行い市当局の考えを質しました。

▲同意▼

○南陽市太郎財産区管理委員の選任について、任期満了に伴う選任

- 小野 博 (再) 太郎九三五
- 川合 要一 (再) 太郎一四〇三
- 清水 利一 (再) 太郎一四四四
- 高橋 孝雄 (再) 太郎一四〇四
- 濱田 秀紀 (新) 太郎二三二七
- 清水 勝 (新) 太郎九三三
- 濱田 義雄 (新) 太郎三二七の一

▲条例・その他▼

○南陽市課設置条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市議会議員及び南陽市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市法定外公物の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市学校基金の設置・管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市赤湯財産区温泉条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市教育施設使用に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市立結城豊太郎記念館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市立赤湯学童保育施設の指定管理者の指定について

○南陽市総合保健福祉施設の指定管理者の指定について



追加議案

3月定例会最終日に追加議案として、議員発議案3件、同意案1件、契約案2件、補正予算案1件が提案され、それぞれ原案のとおり可決されました。

▲同意▼

○南陽市教育委員会委員の任命について

現職辞任に伴う任命

小関 文典 竹原四二〇の一

▲契約▼

○南陽市立沖郷中学校改築整備事業
建築主体工事請負契約の締結について

建築主体工事

契約金額 6億8,250万円

完成期限 平成23年3月22日

契約相手方 後藤・和興特建

設工事共同企業体

○南陽市立沖郷小学校改築整備事業
建築主体工事請負契約の締結について

建築主体工事

契約金額 7億8,750万円

完成期限 平成23年3月22日

契約相手方 相田・松田特定建

設工事共同企業体

○平成21年度南陽市一般会計補正
予算(第10号)



結城豊太郎翁銅像

議員 発議

○南陽市議会委員会条例の一部を
改正する条例の制定について

組織機構の見直しにより「建設
課」と「用地課」を統合し「建設
課」としたため、常任委員会の所
管内容を変更するもの。

○日本農業を守る貿易交渉対応に
ついての意見書の提出について

○米価の下落に歯止めをかけ、再
生産できる米価の実現を求める意
見書の提出について

第1回臨時会

平成22年2月1日、第1回臨時
会が開かれ、補正予算案1件が提
案され、審議の結果原案のとおり
可決されました。

○平成21年度南陽市一般会計補正
予算(第7号)

第2回臨時会

2月19日、第2回臨時会が開か
れ契約案3件・補正予算案1件が
提案され、審議の結果原案のと
おり可決されました。

▲契約▼

○南陽市立赤湯中学校武道場整備
工事請負契約の締結について

建築主体・機械設備工事

契約金額 1億8,375万円

完成期限 平成22年12月10日

契約相手方 那須・落合堂経常

建設共同企業体

○南陽市立宮内小学校改築整備事
業建築主体工事請負契約の締結に
ついて

建築主体工事

契約金額 10億3,950万円

完成期限 平成23年3月22日

契約相手方 那須・三浦特定建

設工事共同企業体

○南陽市立宮内小学校改築整備事
業電気設備工事請負契約の締結に
ついて

電気設備工事

契約金額 1億8,060万円

完成期限 平成23年3月22日

契約相手方 東北電化工業(株)

南陽営業所

○平成21年度南陽市一般会計補正
予算(第8号)

議会を傍聴してみませんか!!



原則として中学生以上の
人であればどなたでも議会
を傍聴することができます。
次回の定例会は6月に招
集される予定です。詳しく
は議会事務局まで問い合わ
せください。

(TEL 40-3211)

内線303)

市民の皆様の傍聴をお待
ちしております。

3 ※特定建設工事共同企業体……発注される工事ごとに結成され、大規模工事の際、各分野に秀でた企業同士が構成するもの。
※経常建設共同企業体……企業規模の小さい建設業者が組織するもの。発注機関の入札参加資格審査申請時に申請を行うことで、一定期間単体企業同様の有資格建設業者として登録される。

平成22年度 当初予算決まる

一般会計 128億3,800万円

(前年度比 3.8%増)

(単位：千円)

1) 子供手当事業	442,603	主 な 項 目	7) 小中学校施設整備事業	461,226
2) 農地・水・環境対策事業	15,620		8) 中学校連合運動会事業	1,300
3) スクールバス運行事業	12,060		9) 障害者自立支援事業	377,581
4) 置賜広域病院事業	370,289		10) 児童手当	254,405
5) ハイジアパーク南陽管理事業費	24,597		11) 学習アドバイザー事業	7,200
6) 地域内バス運行事業費	18,762		12) 学童保育施設運営補助(3カ所)	10,120

予算特別委員会による質疑

3月12日、予算特別委員会が開催され、景気対策や学校林伐採問題、中学校統合問題等、平成22年度の当初予算に対し、活発な質疑が交されました。主な内容は次のとおりです。

一般会計

◎歳入全般について

〈議員〉今、南陽市では景気が悪い状況にあるにも拘わらず、予算規模が前年度より+3.8%、学校整備事業に67億円もかけている。このような中で①雇用②中小企業③農業④社会保障をどうするつもりか。

〈市長〉景気の拡大以外ないと考えている。積極予算で社会全体が底上げになれば解決すると考えている。

〈議員〉民主党政権になってから半年。国がはっきりした政策を出さないと地方は良くならない。どう考えているか。

〈市長〉自民党政権が60年も続いってきた。半年くらいで反転は難しいのではないか。期待をして待ちたい。

◎財産収入について

〈議員〉学校林の間伐問題において、業者からの訴訟取り下げ要求はなかった。と先の一般質問で言われたが何もなかったのか経過を教えてください。

〈学校教育課長〉平成20年12月間伐したいとの申し入れがあり、平成20年12月以降伐採があった。その後、平成21年5月、地元から予



吉野中学校学校林

定よりも伐採本数が多いとの話があった。平成21年10月の協議書では250本とあったが、現地確認の結果406本伐採されていたので、平成21年10月犯人不祥で被害届を提出した。

〈議員〉被害届の取り下げのため、実際に業者が来庁したのか。来庁したのなら、内容、人数、時間を教えて欲しい。

〈学校教育課長〉1人で訪ねられた。時間は1〜2時間だったと思う。被害届の取り下げでなく経過を聞かれた。

〈教育長〉2月22日月曜日に9時45分頃から1時間と記憶している。

◎生活つなぎ資金について

〈議員〉生活つなぎ資金の利用状況はどうなっているか。保証人を付ける事なく借り易くしたと言われるが、申し込みにいった人からは民生委員の証明が必要な事や領収書が必要等、かなり厳しいと聞いている。

〈福祉課長〉生活つなぎ資金は、社会福祉協議会で扱っており、県社協からのルートなのではつきり分からない。



ナラ枯れの薬剤樹幹注入

◎なら枯れについて

〈議員〉現在の状況は。

〈農林課長〉平成21年11月現在823本確認している。

〈議員〉対策は。

〈農林課長〉薬剤樹幹注入、伐倒の2つの方法をとっている。市内では、梨郷地区、金山西側地区、十分一山の3地区を保全区域に指定して進めている。

◎松食虫対策について

〈議員〉現在の被害木数と今までの伐木数は。

〈農林課長〉被害木数は、平成21年度572本で、今まで1万5、

600本伐木している。

〈議員〉平成22年度予算で前年度の3分の1に減ったのはなぜか。

〈農林課長〉緑環境税導入で対応してきていることや、松の木が少なくなったために削減した。

〈議員〉今後の対策は。

〈農林課長〉4地区で実施しており、伐木は国庫補助等に対応していきたい。

◎地域農政推進対策事業について

〈議員〉昨年度より436万円少なくなっているが、なぜか。

〈農林課長〉農業担い手対策については、国から直接くるものもあり、平成21年度は5,000万円きている。平成22年度もそうなるのではないか。

◎金融安定化法案について

〈議員〉各金融機関にどう対応しているのか。

〈商工観光課長〉緊急融資については、合計で164件、33億4,900万円実行済みであり、金融機関で対応している。

〈議員〉年度末を控え、資金繰りが一番大変だと思う。強化してもらいたい。

◎持家住宅建設助成金について

〈議員〉実績はどうか。

〈建設課長〉平成21年度、207件申請があり、予定額の約9割に当たる2,200万円以上を助成している。総工事費は11億4,100万円になるのではないかと。

〈議員〉今後とも内容で行うのか。

〈建設課長〉同じ条件としたい。

◎新潟山形南部道路事業について

〈議員〉今後の状況は。

〈建設課長〉梨郷からの7.2km区間は、昨年3月認可され平成22年度早期着工を望んでいる。



新潟南部道路計画図

◎梨郷地区の治水対策について

〈議員〉 今後の進捗は。

〈建設課長〉 巻地区500m区間は国交省管轄であり、県道改修と併せて作業していく。平成22年6月までには完了させたい。

〈議員〉 通学路の関係もあるが、フラワー長井線の踏み切り改修はどうなっているか。

〈建設課長〉 梨郷踏み切り改修は5,000万円程かかる。平成22年度早急に取り組んでもらえる。バス通学の支障にならないようにしたい。

◎消防広域化について

〈議員〉 2市2町で準備室を立ち

上げるとあるが、予算はないのか。〈企画財政課長〉 分担金は改めて計上することになる。

〈議員〉 準備室のメンバーは。

〈企画財政課長〉 市長等で作る理事会と4名の職員、その他専門部会になると思う。

〈議員〉 東置賜エリア1市2町での合併は考えられなかったのか。

〈市長〉 西置賜では小規模であるが、前から1市3町で体制ができあがっていた。今からの合併は3万人規模といわれており、東置賜エリア1市2町の合併は考えられない。県からも2市2町での合併に強い要望があった。

◎連合運動会について

〈議員〉 時期はいつを予定しているか。

〈学校教育課長〉 5月23日に予定している。

〈議員〉 早めに周知して欲しい。応援団はどうか。

〈学校教育課長〉 力をいれていた。感動できるような大会にしてほしい。

◎市長の掲げる教育日本一のみちづくりについて

〈議員〉 市長の言う教育日本一のみちづくりとは何か。

〈市長〉 成績だけでなく、生涯学習に至るまで心の豊かさ、郷土のために役立つ人間、社会に役立つ人間を作る教育だと思っている。

〈議員〉 今の南陽市の水準は。

〈市長〉 比較するものはないが、子育てのみならず、青年教育、シニアクラスや婦人及び老人クラブの活動等、少なくとも下の方ではないと思っている。

〈議員〉 不登校の実態は。

〈学校教育課長〉 完全に学校に来れない児童は小学生1名、中学生2名。30日以上欠席の児童は中学生19名である。

〈議員〉 児童・生徒の自殺も問題になっているが、そのような事起こらないように手厚い援助をお願いしたい。特に命の大切さを常日頃から教えて欲しい。

〈学校教育課長〉 学校だけで解決できる問題ではないが、学習アドバイザー等の助言も頂きながら未然防止に努めたい。



梨郷巻地区



学校整備（宮中）

◎就学援助について

〈議員〉 状況は。

〈学校教育課長〉 小学生71名、中学生54名の合計125名である。

〈議員〉 子供のケア対策は。

〈学校教育課長〉 子供に直接関係していないので問題ないと考えている。

◎学校関連事業費67億円の財源は

〈議員〉 財源はどうなっているか。

〈企画財政課長〉 交付金22億円、起債30億円、一般財源5億円、地域活性化臨時交付金10億円となっている。



後期高齢者対策

◎問題を抱える子供の取り組み
について

〈議員〉どのような事をする目的か。その内容はどうか。

〈学校教育課長〉学校における不登校の未然防止策の充実や学校の指導体制への連携の充実を図る事を目的としているものである。沖郷中学校に1名の配置を考えている。

〈議員〉今後も継続してやる事業なのか。

〈学校教育課長〉県の事業なので現時点では分からない。

特別会計

〔後期高齢者医療特別会計〕

◎保険料について

〈議員〉保険料が高くなったと感じている人が多くいるが、実際はどうなっているか。

〈保健課長〉高くなったと感じている人がいるのは当然だと思う。実際は本人が1割負担で、国が5割、市が4割負担となっているためだと思う。後期高齢者医療制度の中で2年毎に保険料の見直しは規定されており、その中で今回の保険料率となった。平成22年度で市から一般会計及び国保会計合わせて6億8,900万円程出している。

〈議員〉民主党はこの制度を廃止する方向とっているが、おかしいのではないか。

〈市長〉性急な改革はかえって混乱をひき起こす。適切な取り組みと思っている。

〈議員〉県に対して改善要望をして欲しい。

〈市長〉事あることに要望していきたい。

平成22年臨時会及び3月定例会 補正予算の概要

一般会計 **7億7,002万円**を補正
平成21年度 **182億6,987万円**に

(単位：千円)

- 1) フラワー長井線整備事業 1,930
- 2) 赤湯駅西駐車場舗装等整備事業 1,500
- 3) 交流プラザ「葦楽」駐車場造成事業 16,000
- 4) 梨郷公民館整備事業 65,000
- 5) 防災拠点施設外構工事 5,212

主な項目

- 6) 花台橋補修事業 47,000
- 7) 梨郷防災コミュニティセンター整備事業 9,100
- 8) 中学校施設整備事業 24,639
- 9) 小学校施設整備事業 581,498
- 10) プレミアム商品券発行事業 10,000

市政に対する議員の 一般質問と答弁要旨



南陽の菊まつり・白竜湖
の景観保全について

川合 猛 議員

◎「第97回菊まつり」の入場者数
及び決算について。

〈市長〉入場者数については、19、146人で、前年より1、223人の減少となり厳しい結果となりました。また協賛金についても市内の企業及び商店の方々より452万円のご協力を頂きましたが、長期化する景気の低迷などにより前年比98万円の減少となりました。支出については、会場の設営をできる限り直営で行うなど240万円の経費の節減に努めました。が、決算では812万円の不足額が生じました。今後、思い切った変革を行う時期にきていると認識しており、早急に実行委員会で検討し

てまいります。

◎白竜湖景観の保全について。

〈市長〉平成14年度から置賜総合支庁内に白竜湖保全プロジェクト会議が設置され、本市も連携しながら様々な検討をしてきました。水質調査、ヒシの除去作業、植栽いかだの実験的設置、地元のパラソニア団体への活動支援など、可能なものから取り組んできたところですが、残念ながら天然記念物の問題また専門研究者の厳しい見解もあり、平成18年以降の活動を中止したところがあります。当面は地元地区によるゴミ拾いなどの環境美化活動に期待しながら、第5次市総合計画策定作業のなかで、県の指導を得ながら白竜湖の本来の姿を取り戻すための環境浄化や景観保全など実施可能な方策を検討してまいります。



市長の選挙公約・学校耐震化
工事及び消防広域について

梅川 信治 議員

◎市長等の報酬削減効果は。

〈市長〉市長、副市長、教育長の報酬を減額しており、手当や福利厚生費等を含めると年間約2、000万円を削減している。

◎業務見直しと民間委託について。

〈市長〉第一次市行財政改革大綱に基づき176項目中10項目を残して取り組みを完了した。民間委託についても外部委託や指定管理者制度を活用し、コストの削減、組織の見直しや職員数の削減に取り組んでいる。

◎市内循環バスの運行にどう取り組んできたか。

〈市長〉市全域の公共交通の確保ということで、平成19年4月より中川地区、西部地区、北部地区の3路線を運行している。沖郷地区からバスの運行につい

て要望があり、当初取り組もうと検討したが断念した。今後、要望があれば改めて検討したい。

運行するには財源の裏付けとなる利用率の向上が必要である。

◎学校耐震化補強工事について。

〈市長〉平成21年度及び22年度の2カ年で総工事費67億円の大事業となる。財源の内訳は、国からの補助金22億円、国の公共投資臨時交付金10億円、起債（市の借金）30億円、内15億円が地方交付税で措置される。残り5億円が市の一般財源。この事業を推進するのに補助金の嵩上げや公共投資臨時交付金といった優遇措置を受けて実施する。22年度末の一般会計の起債残高が約186億円となるが、景気対策を含め子供たちの安全安心のための学校整備に充てるもので、起債の発行はやむを得ない。

◎消防の広域合併について。

〈市長〉県の指導により置賜2市2町（米沢市、南陽市、高島町、川西町）が、大規模な災害等に対応するため消防の広域化を検討している。



女性特有のがん対策及び、
教育現場の環境整備について

白鳥 雅巳 議員

◎無料クーポン券利用による乳がん、子宮頸がんの受診率は。

〈市長〉平成21年1月末現在で、乳がん検診対象者1,155人に対し、受診者は457人で受診率39.6%、子宮頸がん検診対象者899人に対し、受診者は185人で、受診率20.6%となっており、昨年度に比べて、それぞれ8.0%増加しており、無料クーポン券利用効果があったものと捉えているが、全体的には、まだ低い受診率のため事業の継続と、更なる啓蒙が必要と考えている。

◎唯一、予防できる子宮頸がんの予防ワクチンが日本でも承認されたが、市報などで特に、若い人の健診率向上を図るべきでないか。

〈市長〉ワクチン接種で、子宮頸がんの発症を予防することが可能

となるが、一定期に3回の接種が必要なことや接種費用が5万円程度かかるなどの課題もあるが、今後、健康教室などを通し、がん検診の必要性を含め、ワクチン接種などの情報提供及び周知を図っていく。

◎教育現場の環境整備の一環としての、芝生化推進について。

〈教育長〉芝生化された校庭は、芝の柔らかなクッション性によって児童の怪我の軽減を図り、遊び場としてだけでなく、地域住民との交流の場・心のふれあいの場として活用することが可能となる。

◎小学校など校庭の一部を、試験的に芝生化する取組みはないか。

〈教育長〉校庭・園庭の芝生化には、維持管理方法などの問題もあり十分な検討が必要となるが、今後、小学校の校庭や園庭の芝生化に向けたメリット・デメリットなど更に検証し、子育て宣言都市にふさわしい教育環境整備を推進していく。



第4次南陽市総合
後期計画について

高橋 篤 議員

◎本市の予算規模は。

〈市長〉税収の落ち込みが予想されるなかで、市内経済への配慮や教育及び子育て分野の充実のため、国県支出金など有効に活用し予算の規模を算定している。新年度予算の一般財源は妥当と考えている。

◎第4次南陽市総合後期計画進捗率及び、重要事業達成率の見込みについて。

〈市長〉達成状況等について最終点検を行なっている。概数になるが372事業中、357の事業に着手し進捗率は96%である。重要事業の項目は21事業で、現在も進捗中の事業もあるが、将来的な判断から優先順位を変更した事業もある。また「白竜湖景観保全」総合文化施設機能の検討「宮内公民館移転と周辺施設の整備検討」の



三項目については滞る状況である。第5次市総合計画を策定するなかで方向性を示していく。

◎置賜2市2町で消防広域化を進める理由について。

〈市長〉喫緊の課題として国の方針で消防無線のデジタル化等完了する必要がある。本市の場合費用が5億円程度と推計している。広域消防になれば、事業費の圧縮や、有利な財減の手当が可能になるなど、メリットが大きいと考えている。住民の身体、財産の安全と安心を確保をする消防の体制強化、住民サービスの一層の向上を図るため、消防広域化を進めることを確認した。



子育て支援の充実
について

佐藤 明 議員

◎1月29日、少子化対策をまとめた「子ども・子育てビジョン」が閣議決定され、2014年度までの「施策に関する数値目標」がかげられました。ビジョンは、「子どもを大切に作る社会をつくりたい」としておりますが、市の子育て支援都市宣言との関連でどのように充実させていくのか。

〈市長〉このたびの「子ども・子育てビジョン」につきましても、同じ方向性にあるものと考え、内容を検討のうえ継続して充実をはかって参りたい。

◎「子ども手当」をめぐっては、さまざまな問題もあると云われている。10年度は、児童手当を受給している場合、来年度からは扶養控除廃止等の影響で増税になり、さらに保育料等への負担増になるのでは。

〈市長〉所得税及び住民税扶養控除廃止・縮小については、平成23年以降の所得について適用される見込みとなっており、ご指摘のとおり、保育料については、利用者の所得税額等に同じ負担額が定められておりますので、扶養控除の廃止により保育料算定階層が上がり、これまでより高額な負担となる。扶養控除の廃止等の影響を受ける社会保障や福祉制度50項目の見直しが始まっており、これら結果に基づき、対応して参りたい。

◎ひとり親家庭への支援策は。

〈市長〉相談事業や就労、経済面など多方面からの支援制度を活用し、特に経済面での支援として児童扶養手当の給付が主要なものとなっている。今後、子ども・子育てビジョンの主要施策に基づいて支援して参りたい。

◎子育て支援都市宣言にふさわしい体制と内容の充実が求められている。専門的にとり組む課があつていいのでは。

〈市長〉新年度から子育て支援室を新設して推進をはかって参りたい。



22年度施政方針
について

板垣致江子 議員

◎新設されるスポーツ文化課のスポーツ・文化振興活性の具体策は。

〈教育長〉全国に誇れるスポーツ競技者や芸術文化人の輩出による地域の活性化と市民の連帯感を創出し、市民ひとりスポーツ・一文化の定着を目指し、軽スポーツの普及や市民の健康づくりにも力を入れ、元氣あふれるまちづくりを推進する。また多くの文化事業に触れることで芸術文化に対する感性を育て文化の定着を図りたい。

◎ドリームランドの安全な活用のための危険防止、環境整備対策は。

〈市長〉安全対策は監視カメラの設置と安全指導員の配置による遊具利用や園内でのマナー指導など安全管理を徹底する。万が一に備え遊具利用について保険はかけてある。夏場の日陰対策としてはテ

ントを張るなどしていきたい。

◎子育てや家庭、教育など様々な問題の相談体制の充実は。

〈市長〉関係所管課が連携・協力して相談に当り対策を講じているが、22年度から子ども支援室を設け、いつでもどの機関からでも相談が受けられるようにしたい。

◎春の桜、夏のバラ、秋の菊まつり。地域文化・観光資源としての活性化対策と皆川健次菊まつり基金の活用状況について。

〈市長〉人気の花を素材としたまつりなので更に県内外にPRし南陽市全体の活性化に努める。菊まつりについては実行委員会体制等様々な見直しをしながら、皆川健次菊まつり基金（年250万円運用）を活用、伝統ある南陽の菊を後世に伝え菊のまちづくりを推進する。

◎注目を集めている「おいしい山形プラザ」今後の活用は。

〈市長〉特産品の販売や観光PRはして来た。今後も継続的にPRを行うため検討。6月には「南陽のさくらんぼ」物産展を予定。首都圏に向け南陽市の魅力を発信してゆく。

◎注目を集めている「おいしい山形プラザ」今後の活用は。

〈市長〉特産品の販売や観光PRはして来た。今後も継続的にPRを行うため検討。6月には「南陽のさくらんぼ」物産展を予定。首都圏に向け南陽市の魅力を発信してゆく。



深刻化する少子化・高齢化への対策とまちづくりについて

吉田美枝 議員

◎学校改築や耐震化に伴う67億円の工事の決断に至った経緯は。

〈市長〉人づくりこそ財産であり、未来への礎であるという考えのもと、人材育成を担う教育は重要であり、各学校が均衡ある教育環境と安全確保のもとで、児童・生徒が切磋琢磨して成長を遂げていく学校の環境整備は必須と考えた。市内景気回復を下支えし、国の制度を最も有利に活用できるチャンスは今しかないと判断した。

◎人口減少歯止め策として若人世代の定住化をどう図っていくか。

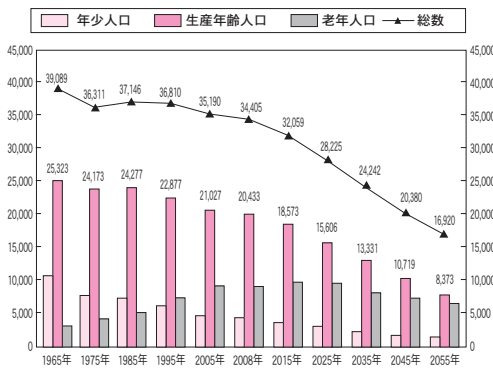
〈市長〉人口減少の多面的要因をいかに解消するかが鍵で、子育てや教育の多様な施策の取り組みも不可欠である。地区人口の均等化を図る上でも、できれば宮内地区内に、三世同居を推奨するよう

な住宅建設を考えていきたい。

◎高齢者の一人暮らしや、高齢者だけの世帯が益々増えていく状況のなか、高齢者が安心して地域に住み続けることのできるまちづくりについてどう考えるか。

〈市長〉老後の5大不安は、健康、住まい、生活費、介護、仲間である。まちづくりを進めていくためには、行政がやること、市民・地域が主体的に取り組むべきこと、行政と地域住民が協働でやることの3つの視点があり、これからは地域住民の積極的な関わりと支えあいが重要となる。行政としても必要な支援はできる限りやっつけてくつもりである。

南陽市人口の推移・推計



※2008年までは国勢調査、2015年以降は推計人口（県政策企画課推計）



住宅耐震補強工事で経済活性化を

片平志朗 議員

◎2009年のGDP（国内総生産）はマイナス5%と戦後最大の落ち込みとなっている。中でも住宅投資はマイナス3%と大きく、建設業界は非常に厳しい状況に追い込まれております。地場の建設業界の活性化と市民の安全安心を守るため、住宅耐震化促進について、行政は最大限の施策をとる必要があると思う。市内住宅の耐震化率の現状は。

〈市長〉市内で耐震性が不十分と推定される住宅は、現行の耐震基準が適用された昭和56年6月以前に建築された4,870戸のうち7割の3,369戸で、全体の33%が該当する。本市においても平成21年1月に「建築物耐震改修促進計画」を策定しており、計画に基づき啓発活動を行なう等、耐震化

向上に努めていく。

◎耐震診断と耐震改修工事費用の補助制度創設の考えは。

〈市長〉県内市町村において、耐震診断派遣事業の補助制度を創設しているのは14市町村で、耐震改修工事費用の補助制度を実施しているのが4市となっている。本市においても県の「高齢者すまいの地震安心事業」により、高齢者世帯7件の耐震調査を実施している。今後、他の市町村の動向も見極めながら、補助制度の創設を検討していく。

◎耐震化促進の第一歩は耐震診断であるが、耐震診断の協定を結ぶ考えは。

〈市長〉耐震診断派遣事業はその委託先が地元建築士会や診断士事務所協会、有資格者との個別契約が考えられるが、市にとってもメリットがあり、市民の方が利用しやすい方法を県内市町村の事例等を参考にしながら、今後検討していく。



常任委員会審査報告

総務常任委員会

◎南陽市課設置条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、建設課と用地課を統合し建設課とするとともに、課の分掌事務「防犯に関する事務」を総務課に移管するため所要の改正を行なうものであり、全員異議なく可決しました。

◎南陽市議会議員及び南陽市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、公職選挙法の一部改正により、本条例を制定することによって、南陽市長選挙における候補者は、選挙運動用のピラを公費で作成できることとなる。審査の結果公職選挙法の趣旨に沿うもので全員異議なく可決しました。

◎南陽市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、労働基準法及び地方公務員法の改正に伴い、月60時間を超える時間外勤務手当の支給割合引上分の手当支給に変えて、時間外勤務代休時間を指定することが可能となったことから、所要の改正を行うもので、審査の結果全員異議なく可決しました。

◎南陽市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、県人事委員会勧告等による一般職の期末勤勉手当支給割合の改正に合わせ、特別職においても期末手当年間支給割合を0.2月引下げ、2.95月とするため所要の改正を行うもので、審査の結果全員異議なく可決しました。

◎南陽市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案の改正内容は3点である。一点目は、本年4月より1年間、文科省に職員の派遣を予定していることから、地域間格差が適切に

反映されるように地域手当を新設するもの。二点目は、月60時間を超える時間外勤務手当の支給割合の引き上げ及び引き上げ分に係る時間外勤務代休時間の指定に関する改正を行うもの。三点目は、一般職の職員の期末勤勉手当について、平成22年3月31日で独自削減が終了することから、県人事委員会勧告に合わせ、年間支給割合を3.9月に引き下げるため所要の改正を行なうもの。委員から、職員の士気が下るのでは。民間にも波及し購買意欲の縮小など経済への悪影響が懸念されるなどの反対意見が出されたが、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

◎南陽市法定外公共物の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、法定外公共物の使用料の額を改定し農業委員会の定める基準に改定するため所要の改正を行なうもので、審査の結果全員異議なく可決しました。

◎南陽市赤湯財産区温泉条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、温泉受給者から名義変

更の届け出があり、「医療法人社団公徳会」を「社会医療法人公徳会」に改めるもので、審査の結果全員異議なく可決しました。

(委員長 田中 貞一)

産業建設常任委員会

◎南陽市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、全国的な地価下落状況等に対応するため、道路法施行令が改正された事に伴い占用料の見直しを行うもので、国においては20年4月から改正を行っており、県内全市町村と足並みを揃えた料金とする必要があることから条例の一部の改正を行うもので、審査の結果全員異議なく可決しました。

◎南陽市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、本市道路占用料徴収条例の一部改正に準じ都市公園占用料の改正とともに「国等の債権債務等の金額の端数計算に関する法律」に基づき、10円未満の端数を「切り上げ」から「切り捨てる」に改正するもので、審査の結果全員

異議なく可決しました。

◎請願第一号 日本農業を守る貿易交渉対応についての請願

本請願は、関税撤廃を目指す貿易交渉により日本農業に甚大な影響を及ぼすことから、食料安全保障を強化する公平・公正な貿易ルールを確立すること。また上限関税の導入を阻止する事などについて、国に対し意見書の提出を求めるものであります。審査の結果、願意妥当と認め全員異議なく採択しました。

◎請願第二号 米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願

本請願は、「米戸別所得補償モデル事業」の補償単価の引き上げ、また備蓄米在庫のうち超古米を主食用途以外に処理し、これにみあう量を新たに買い入れることなどについて、国に対し意見書の提出を求めるものであります。

委員からは、補償の対象者や補償要件の確認などについて質問がなされました。審査の結果、願意妥当と認め採択しました。

(委員長 漆山 鏗一)

文教厚生常任委員会

◎南陽市学校基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、今年度で廃校になる梨郷中学校、吉野中学校、漆山中学校、中川中学校基金を統合する沖郷中学校、赤湯中学校、宮内中学校の学校基金に移行するもので、委員より、基金の目的は何か等の意見や、学校林を教育に活用していくようにとの要望もあり、審査の結果、全員異議なく可決しました。

◎南陽市教育施設使用に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◎南陽市立結城豊太郎記念館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

両案は、結城豊太郎記念館の入館料を廃止し、併せて旧館にある和室に使用料を設定し、その使用を可能とするため、それぞれ条例の一部を改正するもので、一括して審議をしました。委員より、夜間の使用は歴史ある建物なので管理をしっかりとしてほしいとの要望

もあり、審査の結果、全員異議なく可決しました。

◎南陽市立赤湯学童保育施設の指定管理者の指定について

◎南陽市立総合保健福祉施設の指定管理者の指定について

両議案は、赤湯学童保育施設「めんごキッズ館」沖郷学童保育施設「沖郷わくわくセンター」の指定管理者を、いずれも社会福祉法人双葉会に指定するもので一括して審査をしました。委員より、子どものストレスやいじめへの対応をしっかりとしてほしいとの要望もあり、審査の結果、全員異議なく可決しました。

(委員長 高橋 篤)



指定管理される「沖郷わくわくセンター」の子どもたち

置賜広域事務組合議会報告

2月22日定例会が開催され、4案件が審議され承認されました。その中で主な案件を報告します。

◎平成21年度一般会計補正予算

契約関係の金額確定と人件費等による補正により、1億3,063万1千円を減額し、歳入歳出の総額を42億5,362万1千円とするものです。

◎平成22年度一般会計予算

平成22年度予算の歳入歳出の総額は46億7,118万9千円(前年比0.7%増)とするものです。

◎置賜(3市5町)の消防広域化断念、新たに2市2町で

平成21年度から検討されてきた置賜消防広域化は、既に広域化になっている西置賜広域消防組合を構成する1市3町(長井市、白鷹町、小国町、飯豊町)より辞退の申し入れがあった事から、新たに東南置賜2市2町(米沢市、南陽市、高島町、川西町)の枠組みで検討されることになりました。

(置広議会議員 片平 志朗)

置賜広域病院組合 議会報告

公立置賜総合病院とサテライト医療施設（長井・南陽病院、川西診療所）を運営する置賜広域病院組合（管理者 後藤幸平飯豊町長）議会の2月定例会が、2月15日南陽市議会議場で開催された。

提出された議案は、「平成21年度病院事業会計補正予算」、「平成22年度病院事業会計予算」、「一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定」、「一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定の専決処分の承認」の4議案を原案のとおり可決、人事案件2件に同意し閉会した。

平成22年度病院事業会計予算は、今年度の実績を基本とし病院改革プランの趣旨を踏まえ編成された。病院事業の業務予定量については、年間入院患者延べ数を21万8、489人、年間外来患者延べ数を36万1、597人、ドック利用者延べ数100人と見込んでいる。

収益的収入支出は、収入総額を

130億9、014万1千円、支出総額を136億6、275万8千円計上された。

資本的収入支出は、収入総額を17億3、185万1千円、支出総額を17億2、965万3千円計上された。

監査委員の選任では、長沼安義氏（飯豊町）再任、松木新一議員（南陽市）新任に同意した。

申し合わせにより議長に金子一郎議員（川西町）を選出。欠員に伴い議会運営委員長に蒲生吉夫議員（長井市）、同委員に遠藤栄吉議員（南陽市）、病院運営特別委員長に菅野富士雄議員（飯豊町）、同副委員長に蒲生光男議員（長井市）を選任した。

（置賜病院議会議員 松木 新一）



平成22年3月定例会 請願審査結果表 H22.3.19

託会 付委員	件名・請願者	審査結果
産 業 建 設	日本農業を守る貿易交渉対応についての請願 東置賜郡川西町大字上小松978-1 山形おきたま農業協同組合 経営管理委員会 会長 木村 敏和 山形おきたま農協農政対策本部 本部長 木村 敏和	採 択
	米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願 南陽市漆山1068番地 南陽市農民連 会長 竹田 久一	採 択

編集後記

桜のたよりがあちこちから届き始め、いよいよ本格的な春。新しい生命の芽吹きがあちこちで見られ、自然の力強さ、美しさに感謝せずにはおられません。

私達が議会だよりを担当して2年、最後の議会だよりとなりました。新人4人、2人の先輩方にご指導を頂きながら、正確、公正中立を厳守し、親しみのもてるわかりやすいものになるよう心がけ

て取り組んで参りましたがいかがでしたでしょうか。市民の皆様にはご愛読いただきました事に心より感謝申し上げます。

今後も市民に親しく読まれる議会だよりになります様、期待いたします。2年間ありがとうございました。

委員長 板垣致江子
副委員長 川合 猛
委員 白鳥 雅巳
片平 志朗
松本 新一
桑原 仁

委員 白鳥 雅巳
片平 志朗
松本 新一
桑原 仁